



氷点下の中、水を撒くのは
そこに笑顔を咲かせるためでした





氷上に咲き誇る 満開の笑顔

1月21日、「かわまた田んぼリンク」
がオープンしました。約40年前に始
まった田んぼリンクは、約530メー
トルと標高が高く、氷点下10度を下
回る山木屋地区の寒さを利用した天
然のリンクです。過去に国体選手も
輩出してきたスケートリンクでした
が、年々、管理運営をしていたメン
バーの高齢化や後継者不足といった
問題が露わになってきていました。

そんな存続の危機に手を挙げたの
が、山木屋地区で地域活性化事業や
農業を行う筑波大学大学院修士1年
の佐々木大記さんと福島大学4年の
牛田ジョシユア昭彦さんの2人です。
2人が共同代表を務める団体「かわ
また田んぼリンククラブ」では今年
からナイトリンクの開催や山木屋産
蕎麦「高原の宇宙」を使ったワッフ
ルの提供も始め、多い時には家族連
れを中心に土日にかけて約400名
もの来場者が訪れていました。

製氷作業のため水を撒けるのは氷
点下5度から。極寒の中、白い息を
吐きながら水を撒くのは、その氷上
に満開の笑顔を咲かせるためでした。

